

該馬友史ナ本印人，在為ノ不思し又、代ホリハ法未
久監退也。其汗ソ主服トセシモヤシナヒ。主服ウ
行者、補給ノ機密、御令セシ也。又赤帽者、本
向部ク乾、本印人ト該馬氏ト、往來更々、状況
感情、既久久活潑、向仰之。今實際、狀況ヲ
う政務局、御座シ。御去おぬ。件、ハ該馬ニ
於元露文、伐木桂漁与一件、事也。該馬恭哉
等、於此把主也。序シテ、密沈調查、有
大代人ソ以レ行リ。然、其ノヨリ或ト可、不可
一博多シ。少候方補、送り者、シテ、將意許可
セシは、矣也。也。

大臣

閣

機密
第受
號二六三一
機密
第受
號

主管
通商
郵政

政務局

内閣

第受

號

外務大臣青木周承殿

追付林立度毛河縣書類抄送日本

別冊目錄

- 一 受命調查事項報告書
- 一 航行陵島山林調查概況
- 一 航行陵島渡况
- 一 航行統計表
- 一 在埠日本人名至籍及渡航年次
- 一 所有船舶

受命調查事項報告書

八

一観木盜伐ノ件

前島監吳相鑑及現島監斐季周ハ在島日本ニ対シテ一般ニ禁伐、令ヲ發シ又ハ伐採不可カラサル旨ヲ告ケタルコトナシ三日本人、伐木者或はニ対シテ幾分、伐木料ヲ收メテ為ス林禁伐、旨ヲ告ケタルコトアリト云フヨウシテ在島日本モ盜ノニ伐木スルコトノ不可ナルコトニ一般ニ知レルカ如シ然レハ前島監吳相鑑及現島監斐季周モ貪慾を窮ニシテ勢力ナク取締、不行苟為メ島民、或は皮目本人モ許可ナシニテ山林ニ立、観木ヲ伐採スルモノアリ
事、許可ヲ得タルモノヲ詳ゲレバ

第一、烟本吉藏ナル有ヘ前島監吳相鑑、伐木

料トニテ五百兩ヲ納メ別紙、如キ証書ヲ有セ
此証書ハ小官考ニテモ又烟本著、言フ所
ニ依ルニ一般樂制限ニ櫻木一伐採ヲ許ニタ
ルガ如ク見ニシテ視察官禹用鼎ハ証書ニ
一櫻木云々トイルヘ一本、櫻木一伐採ヲ許ニタ
ルモノナウト主張ニタリ依テ本官ハ之レハ一つ書
ニシテ櫻木一本ヲ意味スルナラバ櫻木一株
ト書クシ正當トスト争ヒ主張合ハルヲ以テ
本証ハ京城ニ於テ決スルニ定ノ置キタリ
然レハ無論之シハ櫻木一本、意味ニ非ノ現
ニ烟本ハ此証書ニ基シ既ニ櫻木二十七本
ヲ伐採セリ

第二昨年韓人金庸爰ナル者櫛爵陵島之民使

用ノ船舶ナク不便女カラサルヲ以テ船舶購入
ノ為メ在島櫻木八十株伐採、許可ヲ政府
ニ請願シ農商工部ヨリ許可、公文ヲ得
歸途金山ニ立寄リ日本人大野桂治ナル
者ヨリ金三千余兩ヲ借受ケテ伐木給供ノ
約束ヲ為シ大野ト共ニ櫛爵陵島ニ至、現
島監裴季周ニ面會シテ農商工部ヨリ
櫻木伐採、許可、公文ヲ示シテ伐木ニ從事
セシニトヲ告ケタルニ裴島監ハ金庸爰カ舡
舶購入ニ充ツキ全ヲ自用ニ消費ニタルエト
ヲ知リタルヲ以テ其伐採ヲ拒ミタリ而ニテ裴
島監ハ其公文ニ墨ヲキ韓人田士能ナル者ニ
櫻木八十株伐採、許可ヲ與、田士能ハ日本

人中西秋太郎製材ニ閑スル契約ヲ結ヒ目
下中西八十五名、木挽ヲ率ヒテ伐採製材中
一契約書ハ別紙通ニ島監モ又能ク其事實
ヲ知ル右契約ニ基ツキ既ニ伐採ニタル分ハ中
西ノ話ニ依レバ五十土様ニシテ尚ニ十五株ヲ存
ス然ルニ島監ノ諸ル所ニ依レハ既ニ八十三株ヲ
伐採シタリト何モ確実、証據ナリ其信偽行
ヒニ在ルヤ判断シ難シ

附記 金庸義ト大野トノ伐木ノ約ト因士能ト
中西トノ伐木ノ約ハ同公文ニ基ツキ全ノ別
闇保ニシテ大野カ伐木、約ヲ放棄シテ
金ヲ請取タルカ為メニ中西ト因士能トノ間
ノ槐木八十株伐採ノニトハ何等影響ヲ

ヲ要クルモノニ非ス視察官禹用鼎ハ坎
事ヲ誤解シテ既ニ大野ニ金ヲ返セバ中西
ノ伐木權モ從テ消滅スル者ナリト考ヘ居
リキルヲ以テ百方説明シ置キタルモ或ハ坎
誤解ヲ傳エルヤ圖ニサルヲ以テ為念

附記ス

第三前島監吳相鑑ヨリ元角煎造等カ槐木四
株、伐採許可ヲ得タル者アレハ証書散逸セ
ク此四株伐採許可ヲ得タルハ吳島監カ日本
人中村正録ヲ打擲シタルヲ以テ元角等且不
法ヲ責メタル結果ナリト、コトナリ之レニ對レ
テ人内部視察官ヨリ督廻シ以テ伐採許

二享刪除

可テ得タルモノナリトノ報告アルベキモ日本人、詔
ヲ聞クニ別ニカ脅迫シタルエトナシト云ヒ、喪島監
ハ之レ打消ス為メニ詔人數十名ヲ遣シ來ワタ
レ氏一人モ現場ニ在タルモノナキヲ以テ本直ハ
之レヲ記ルコト能シト述ヘ墨キタリ
櫻木、積出ニ対シテ人税ヲ松タルマ否ヤ分明ナラズ尤
分明モ前現島監ヨリ何等故障ヨロシ、先ニトナシ
加之前島監吳相鑑ハ一方ニ於テ烟本吉藏ニ一賃
ノ伐採許可ヲ與ヘタルト全時ニ其積出ニ対シテ島
民妨害又可カラゼル旨ヲ布達シ居レバ即チ別紙ノ
如シ

賣下訖

一櫻木伐余錢五百兩併捧上也

右賣下事

己亥四月二十五日

櫻木陵島監吳相鑑

日本烟本公

島人入納

曰人

烟本

製造之

楓木

降積入

放島人無故障

積入

桂子勿拒之

己亥六月十五日

吳島監

印